

脳関係

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

脳卒中

★	脳卒中ニコニコ介護の不思議	蔵本 保子/著	新風書房	2001.5
★	脳卒中・あなたならどうする -完全復帰した医師の記録-	鈴木 信/著	大修館書店	2000.4
	リハビリ医の妻が脳卒中になったとき -発症から復職まで-	長谷川 幸子/著	日本医事新報社	1999.3
	回生を生きる -本当のリハビリテーションに出会って-	鶴見 和子/[ほか]著	三輪書店	1998.5
	新聞記者で死にたい -障害は「個性」だ-(中公新書 1411)	牧 太郎/著	中央公論社	1998.4
	私の脳卒中体験 -自己流リハビリは楽しかった-	田中 良太/著	同時代社	1995.9
	脳卒中からはじまった:あるエンジニアの生還プログラム	西 勝人/著	新潮社	1995.1
	言葉が消えた! -失語症と闘う新人賞作家の手記-	早野 貢司/著	風媒社	1991.6
	脳卒中実習記 -医大生が倒れてから復学するまで-	石黒 勇二/著	文芸春秋	1991
	脳卒中リハビリ日記(朝日選書 271)	横田 整三/著	朝日新聞社	1985.1
	生きるなり -脳卒中から奇跡の生還-	千秋 実/著	文芸春秋	1979.1

脳梗塞

★	あきらめない -脳梗塞からの挑戦-	西城 秀樹/著	リベロ	2004.1
★	わがまま患者の独り言-脳梗塞発症入院日記-	対馬 勝淑/著	星湖舎	2002.6
★	脳梗塞からの復活 (ビタミン文庫)	加藤 博/著	マキノ出版	2001.1
★	栗本慎一郎の脳梗塞になったらあなたは どうする -予防・闘病・完全復活のガイド-	栗本 慎一郎/著	たちばな出版	2000.5
	ベランダの車椅子 -私の介護体験記-	植田 芳子/著	元就出版社	1999.9
	生かされた命 -リハビリを受けながら-	豊田 正子/著	岩波書店	1996.1

脳腫瘍

★	カムバック!先生 -脳腫瘍と二人三脚で生きる日々-	浅井 文子/著	樹心社	2000.3
★	あきらめない!自分の名医にたどりつくまで -生死を分ける医者選び-	グレゴリー・ホワイト・スミス/共著	保健同人社	2000.1
	医者が末期がん患者になってわかったこと 続 家族の闘いと看護の記録(角川文庫)	岩田 隆信/[著]	角川書店	1999.9
	もう一度、投げたかった -炎のストッパー津田恒美最後の闘い-(幻冬舎文庫)	山登 義明/[著]	幻冬舎	1999.6
	医者が末期がん患者になってわかったこと (角川文庫)	岩田 隆信/[著]	角川書店	1999.6
	最後のストライク -津田恒美と生きた2年3カ月-(幻冬舎文庫)	津田 晃代/[著]	幻冬舎	1998.6
	命ありがとう	萩本 はる子/著	同成社	1996.3
	がんに救われた男の物語	クロード・ドストール/著	日本教文社	1995.9
	勝ち目のない闘い	右田 吉弘/著	松籟社	1995.1
	眠れぬ夜の夢 -脳腫瘍と闘ったある若きナースの病床日記-	伊藤 ゆきえ/編著	日総研出版	1993.1
	薄明の淵に落ちて	徳岡 孝夫/著	新潮社	1991.4
	ママは不死鳥(フェニックス)	高橋 二三/著	講談社	1983.4

脳腫瘍・クモ膜下出血

	東京タワーに灯がともる	内田 あゆみ/著	新風舎	1997.5
--	-------------	----------	-----	--------

クモ膜下出血

★	入院対策雑学ノート	ソルボンヌK子/著	ダイヤモンド社	2000.4
★	晴れのちくも膜下	有田 直子/著	WAVE出版	2000.1
	車いす記者奮戦記	土井 清之/著	朝日新聞社	1993.9
	甦る!失語症克服の記録	恋塚 弘/著	講談社	1987.9
	魂のリハビリテーション -植物人間からの生還-	新井 智/著	筑摩書房	1984.2
	親を看とらば	荒牧 規子/著	碩文社	1981.5
	失語症の歌 -手記・脳外科手術患者の復権-(ひとふさ文庫 1)	山田 一彰/著	ぶどう社	1978

脳出血

★	ありのまま	真屋 順子/著	主婦の友社	2003.5
★	いのち、輝く! -もう一度メガホンを--大島渚を支えた介護の日々-	小山 明子/著	経済界	2001.1
★	妻たおれ夫オロオロ日記(中公文庫)	藤子 不二雄A/著	中央公論新社	2000.5
★	癒されゆく日々	大島 渚/著	日本放送出版協会	2000.1
	天国へ逝った満点パパ -東八郎の浅草人情物語-	飛田 裕子/著	ハート出版	1989.7

脳関係

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

脳幹部出血

★ 車いすで旅に出よう!-脳幹部出血をのりこえて-	佐藤 俊彦/著	風媒社	2002.7
---------------------------	---------	-----	--------

脳溢血

父帰る -平成元年大熱血闘病記-(角川文庫)	永倉 万治/[著]	角川書店	1994.1
大熱血闘病記	永倉 万治/著	角川書店	1992.1

脳外傷(頭部外傷)

★ ぼくらはみんな生きている -18歳ですべての記憶を失くした青年の手記-(幻冬舎文庫)	坪倉 優介/[著]	幻冬舎	2003.6
★ パパの脳が壊れちゃった-ある脳外傷患者とその家族の物語-	キャシー・クリミス/著	原書房	2001.1
脳外傷ぼくの頭はどうなったの?! -交通事故などの後遺症に悩む若者たち-	原口 三郎/著	明石書店	1999.8
生きててもええやん -「脳死」を拒んだ若者たち-	頭部外傷や病気による後遺	せせらぎ出版	1999.1
人間だもの生きてるよ -章喜の命を支えた家族の手記-	醍醐の森/編	随想舎	1998.1
タラ -小さな生命の詩-	マイケル・ネイスン/[著]	三笠書房	1975
長欠児 -脳傷害の子と母の闘い-	岡田 まき子/著	共栄書房	1967

未破裂脳動脈瘤

患者は、いつも冒険です。-血管内手術を体験して-	清水 美子/著	ウインかもがわ	1997.9
いのちの聖域 -未破裂脳動脈瘤てんまつ記-	前野 一雄/著	三五館	1994.1

急性脳症

生と死のあいだ -脳死の娘との二か月半母が見つめた全記録-	筒井 とも子/著	新風舎	1999.9
-------------------------------	----------	-----	--------

脳死

犠牲(サクリファイス) -わが息子・脳死の11日-(文春文庫)	柳田 邦男/著	文芸春秋	1999.6
---------------------------------	---------	------	--------

脊髄小脳変性症

★ 1リットルの涙 -難病と闘い続ける少女亜也の日記-(幻冬舎文庫)	木藤 亜也/[著]	幻冬舎	2005.2
★ いのちのハードル -「1リットルの涙」母の手記-(幻冬舎文庫)	木藤 潮香/[著]	幻冬舎	2005.2
心はどこへでも -VIVA!飛鳥100泊車椅子の旅-	富永 博子/著	エフエー出版	1997.1

小脳出血

★ 無病足災	大野 真由美/著	文芸社	2002.8
--------	----------	-----	--------

ロケット・インシンドローム

沈黙を超えて生きる -夫と妻...それぞれの愛と闘いの物語-	フィリップ・ヴィガン/著	主婦と生活社	1998.8
潜水服は蝶の夢を見る	ジャンドミニック・ポービー/著	講談社	1998.3